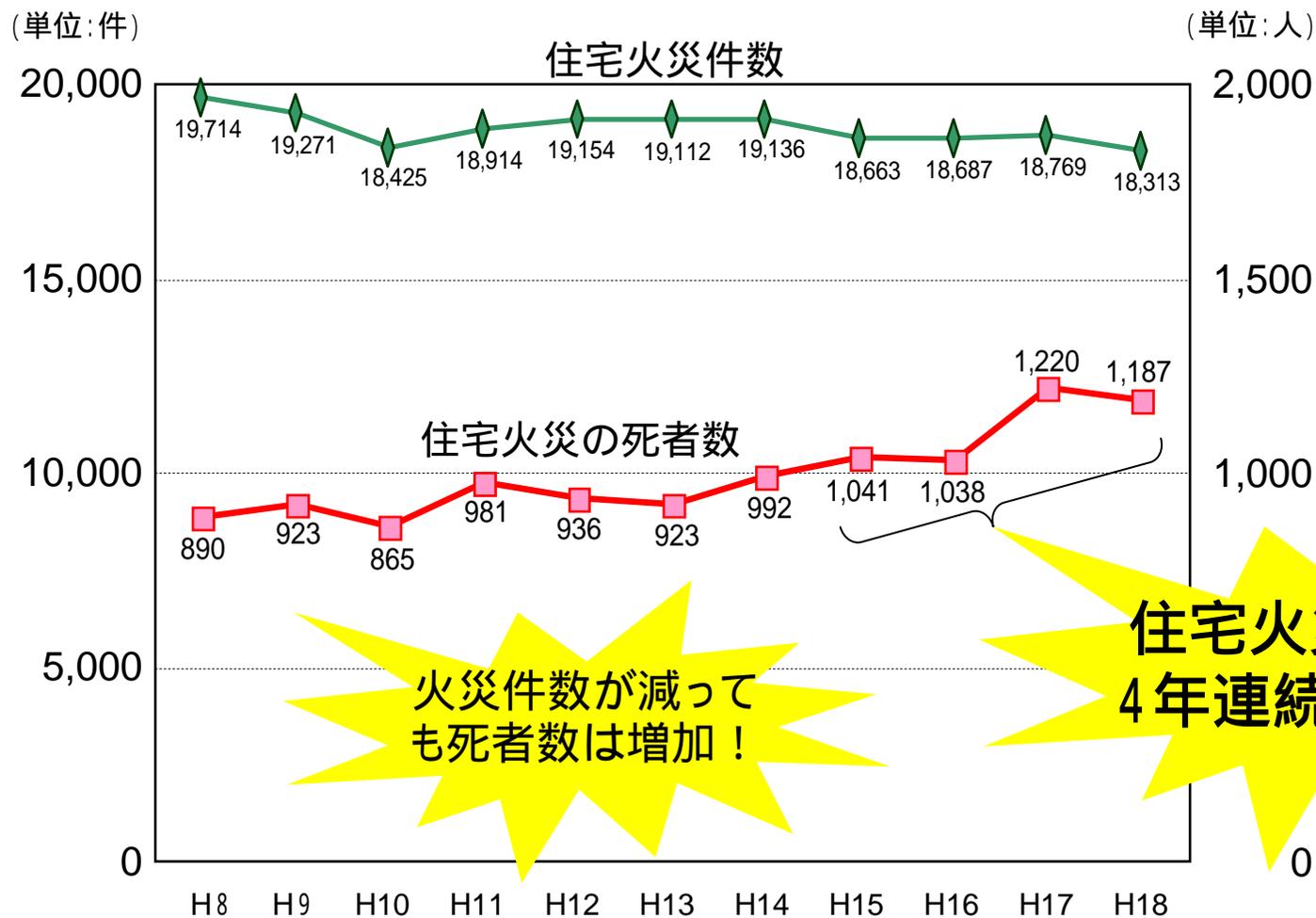


# 住宅用火災警報器の設置促進と 婦人防火クラブへの期待

総務省消防庁 予防課国際規格対策官  
地下 調

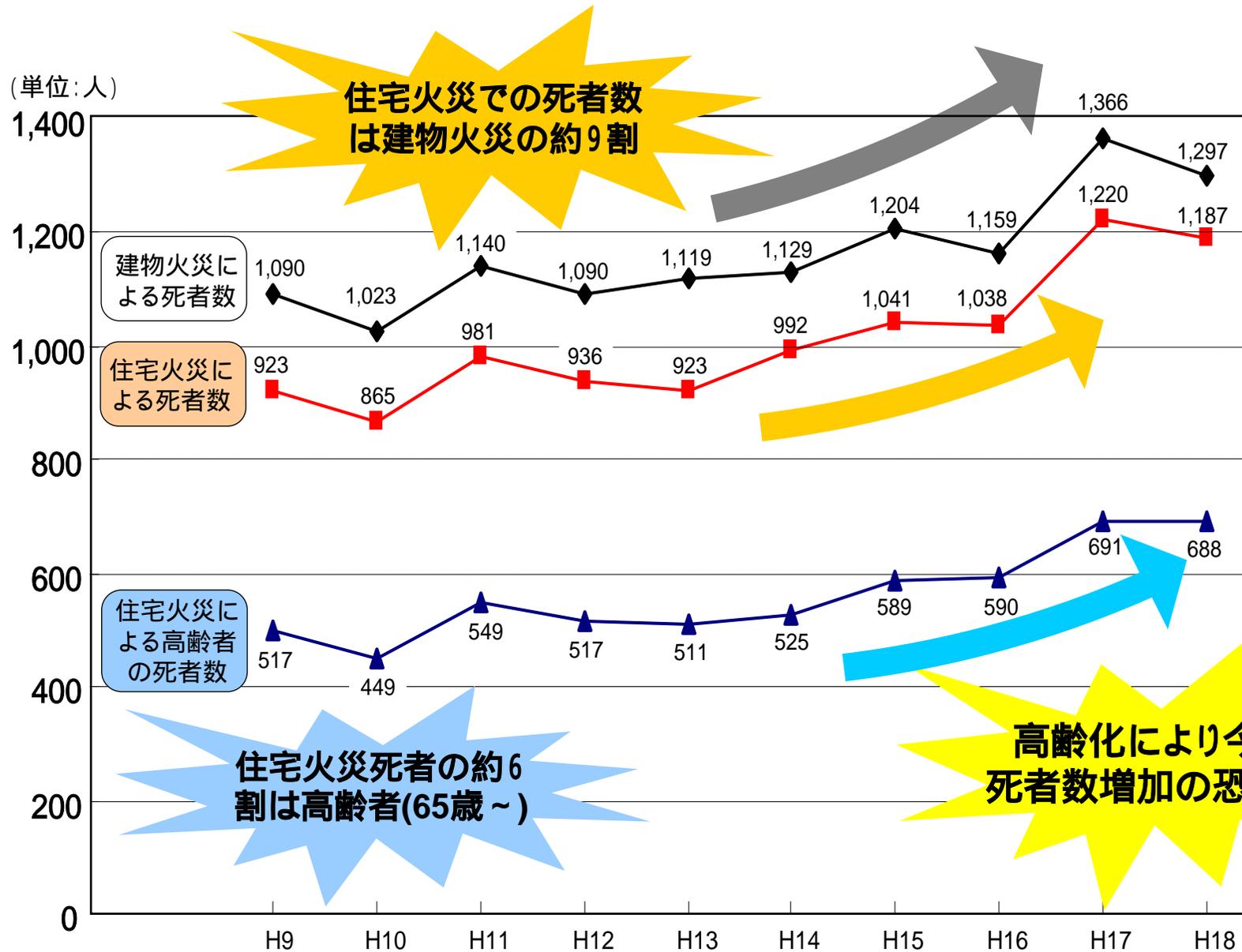
# 住宅火災による死者数(放火自殺者等除く)の推移



火災件数が減っても死者数は増加!

住宅火災死者は4年連続で千人超

# 住宅火災による死者数(放火自殺者等除く)の推移



住宅火災での死者数は建物火災の約9割

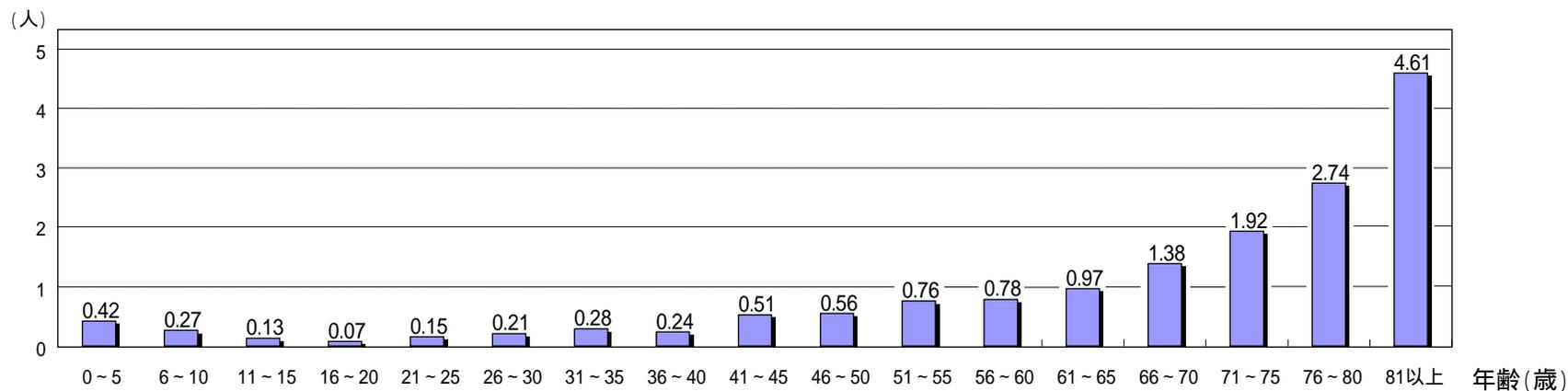
建物火災による死者数

住宅火災による死者数

住宅火災による高齢者の死者数

住宅火災死者の約6割は高齢者(65歳~)

高齢化により今後死者数増加の恐れ!

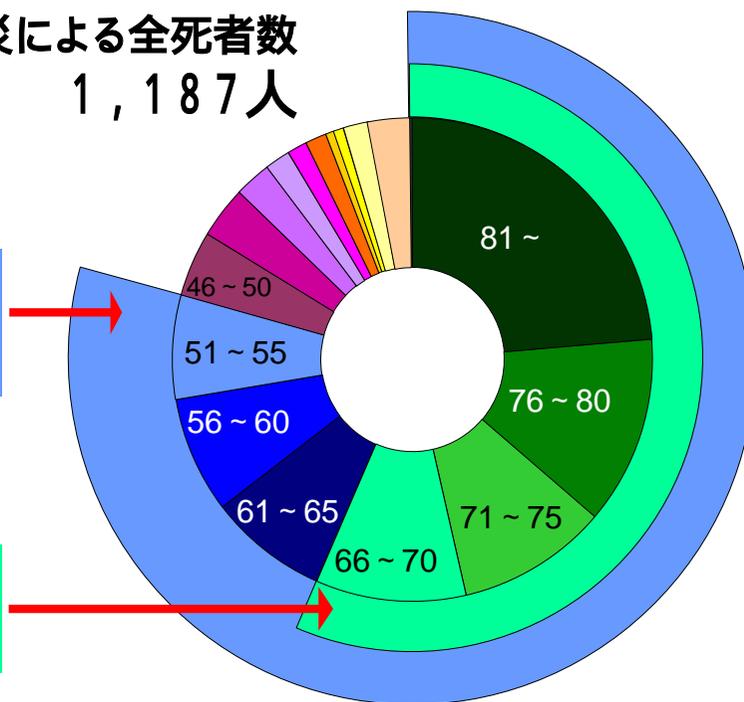


## 住宅火災における年齢階層別人口10万人あたりの死者数 (平成18年中:放火自殺者等を除く)

住宅火災による全死者数  
1,187人

51歳以上で  
約8割(939人79%)

高齢者(66歳以上)は  
約6割(668人56%)

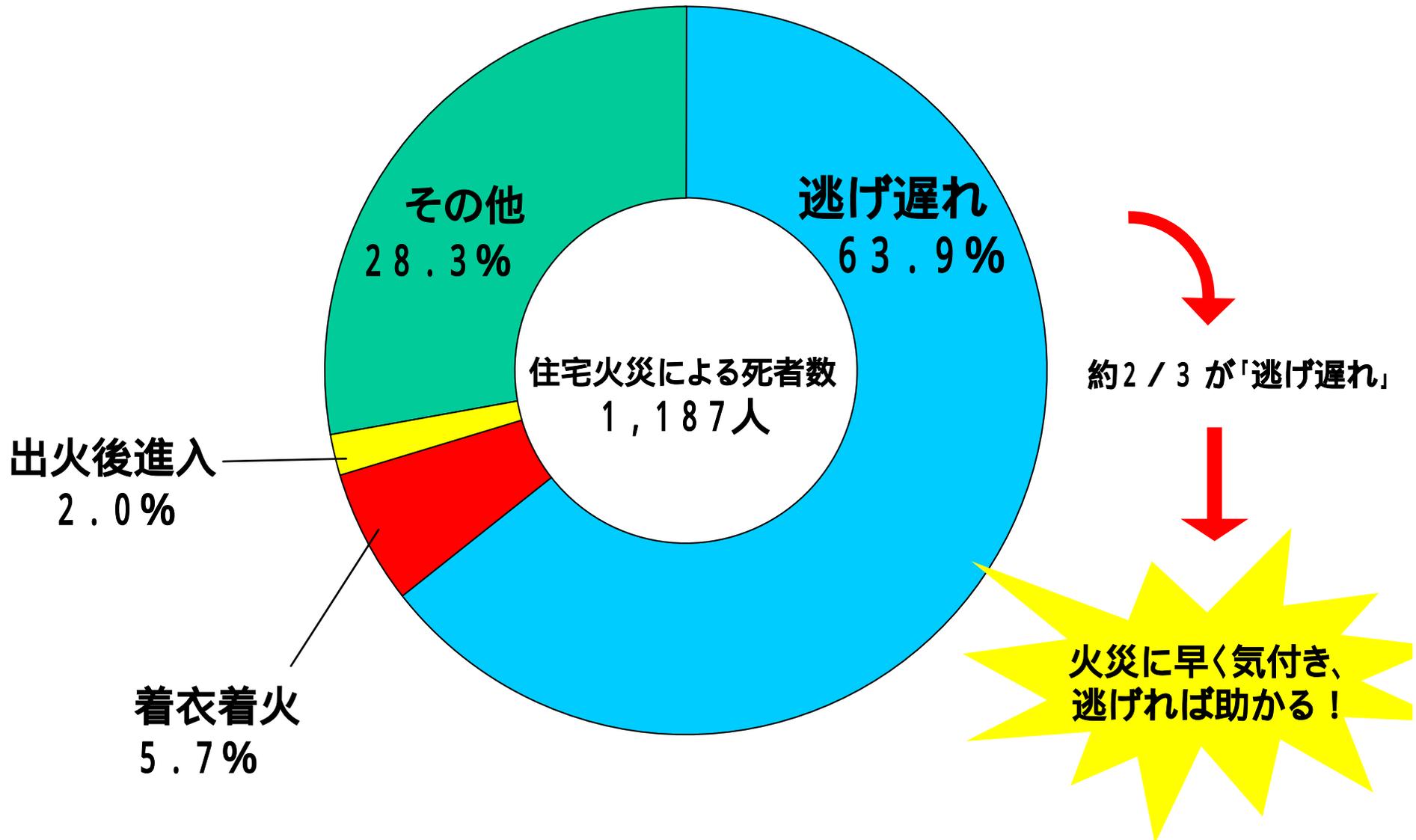


高齢者の  
死者が多い

年輩者ほど  
危険性高い

# 住宅火災による死者数にみる要因別割合

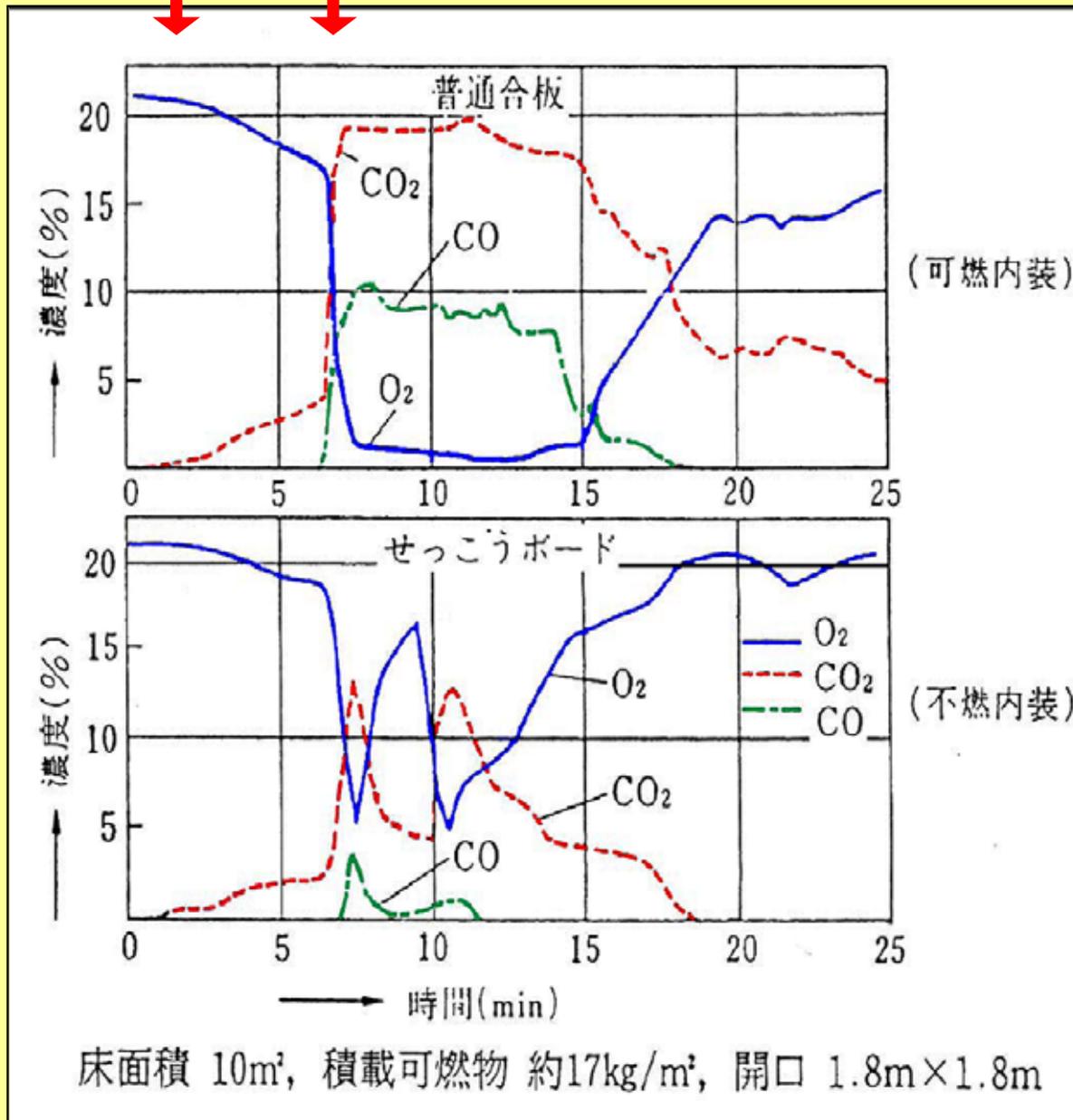
(平成18年中:放火自殺者等除く)



住警器  
警報

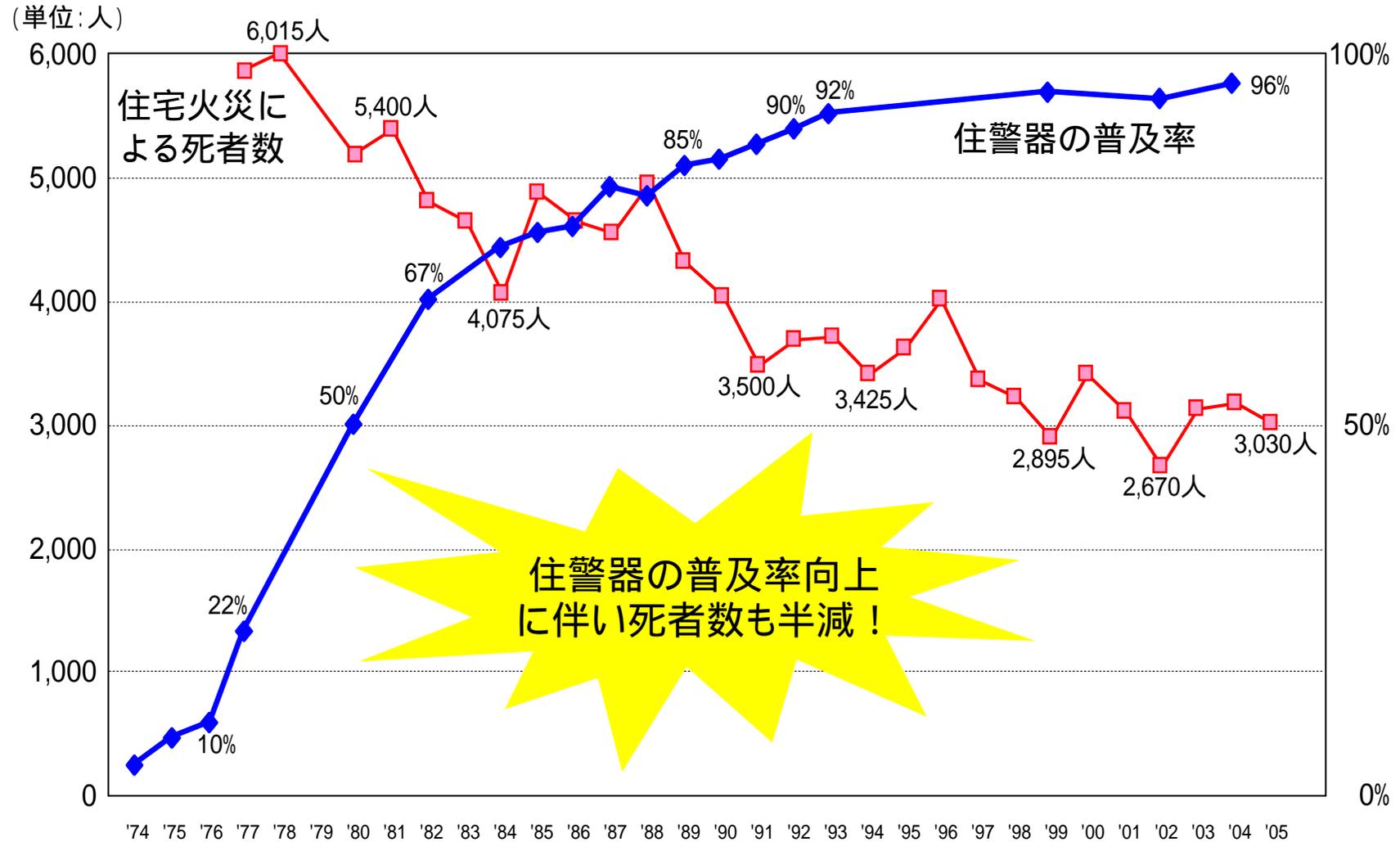
ガス濃度の急増  
フラッシュオーバー

# 火災時の室内 ガス濃度



出火後5～7分で避難しないと手遅れ!

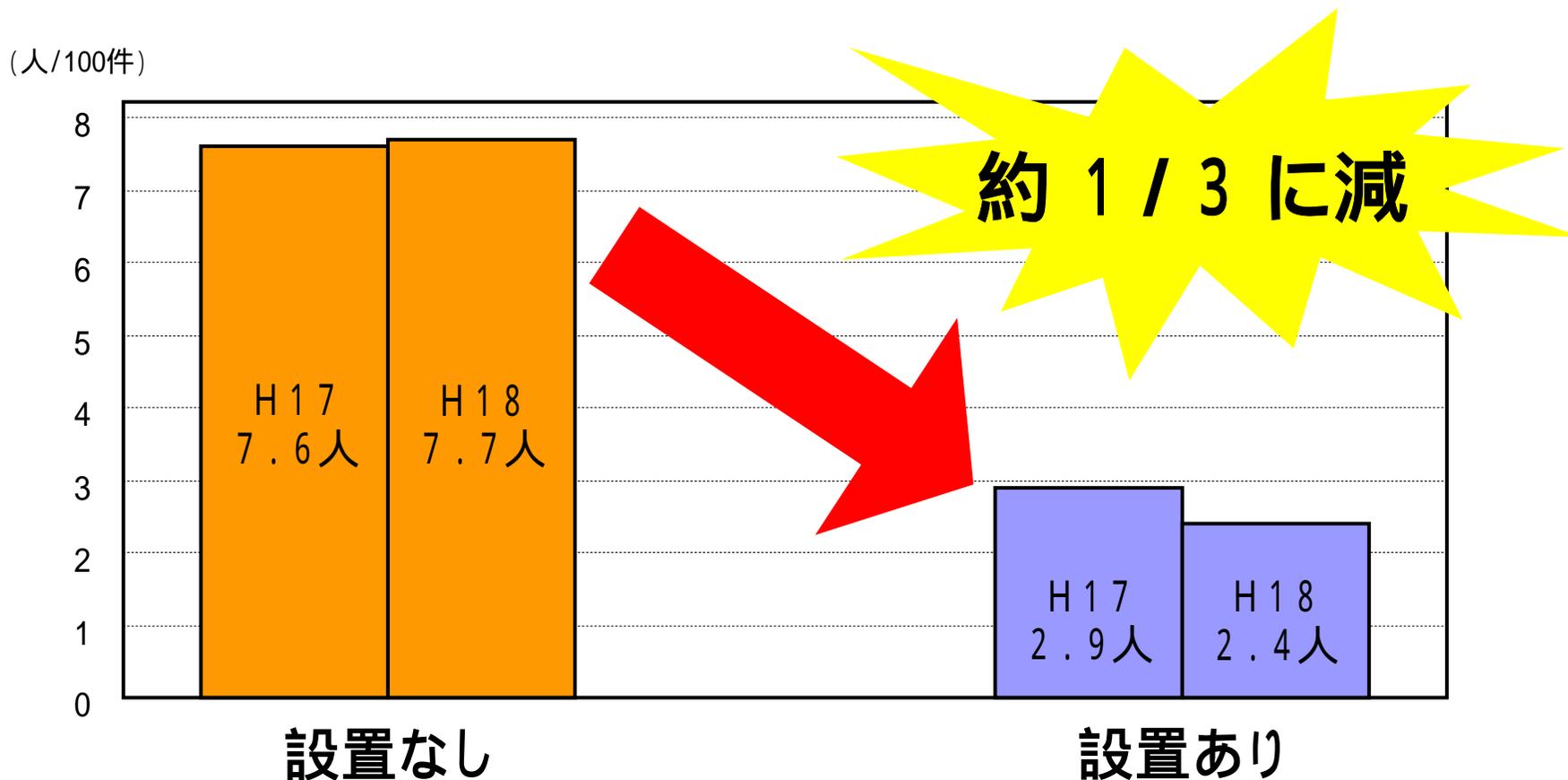
住警器がもたらす3分の時間が重要!



アメリカにおける住宅用火災警報器の普及率と住宅火災による死者数の推移

# 住宅用火災警報器等の設置の有無別死者数の比較

住宅用火災警報器等が設置されていた火災と設置されていなかった火災を、住宅火災100件当たりの死者数で比較すると、設置されていた場合には約3分の1の死者数となっている。  
(数値は「火災統計」のデータによる)



## 共同購入事例(金沢市)

- 婦人防火クラブが住宅用火災警報器購入に係る紹介チラシを作成、市内全住戸(約19万世帯)に回覧し、購入・早期設置を促進
- 金沢市消防機器販売協会と価格交渉し、煙式3個セット11,000円での購入を実現
- 4000世帯で住宅用火災警報器を共同購入
- 住宅用火災警報器の配布も婦人防火クラブ員が実施

# 共同購入事例(京都市)

- 町内会で共同購入
- 18年度は、170町、約5,300世帯が共同購入
- 共同購入することで、一個約3千円で購入可能
- 悪質業者による販売の被害防止
- 市もモデル事業として推進

# 住宅用火災警報器の不適正販売防止

- ・だましの手口を知る

  - 「消防署の方から来ました」

  - 「無料点検しましょう」

  - 「今なら特別に…」

- ・住警器を知る

  - 値段は概ね数千円(ガス警報などの付属機能によって高くなる)

  - 性能基準があり、適合が必要(参考: NSマーク)

  - 義務だが罰則はない

- ・特定商取引法を知る

  - 訪問販売では「名前」「販売目的」「商品種類」の明示が必要

  - クーリングオフ制度により無条件解約可能

  - 詳しくは消費生活センターに問い合わせ

# クーリングオフ制度

- この制度は、訪問販売や電話勧誘等で商品サービスの契約をした場合、購入の申し込みや、契約した日(書面を受け取った日)を含めて**8日以内**であれば、無条件で申し込みの撤回や契約の解除ができます。

## 1 通知は書面で！

クーリング・オフは、電話ではなく、必ず書面で販売店へ通知してください。**内容証明郵便**が最も確かですが、少なくとも配達記録扱いにしたはがきで通知してください。なお、クレジットを利用している場合にはクレジット会社にも同様に通知しておきましょう。ただし、消耗品を使ってしまった場合や、現金取引の場合で代金または対価の総額が3,000円未満の場合は、クーリング・オフできません。

## 2 クーリング・オフの効果

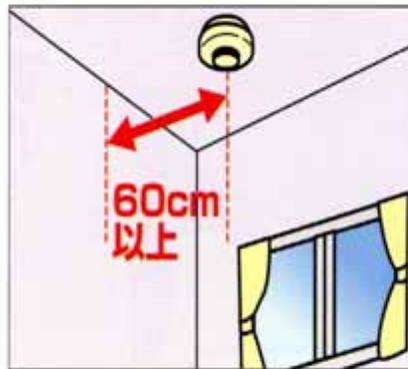
- ・契約を解除しても、損害賠償や違約金を払う必要はありません。
- ・支払った現金は全額返還されます。
- ・商品を受け取った場合でも、販売業者の負担で商品を引き取らせることができます。

# 住警器の設置場所

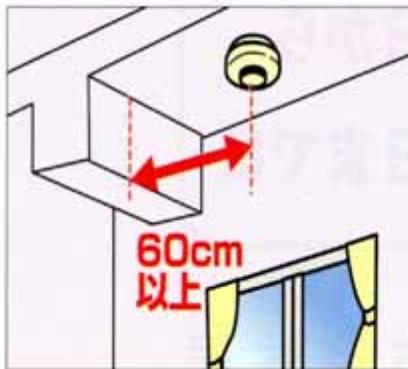
## 設置上の注意点 (天井・壁面の取付位置)

### 〈天井の場合〉

壁面からの取付位置  
住宅用火災警報器の中心を壁・梁から60cm以上離します。

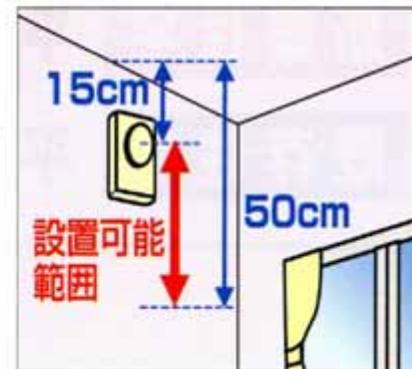


エアコン等の吹出し口  
付近の取付位置  
エアコンなどの吹出し口から1.5m以上離します。



### 〈壁面の場合〉

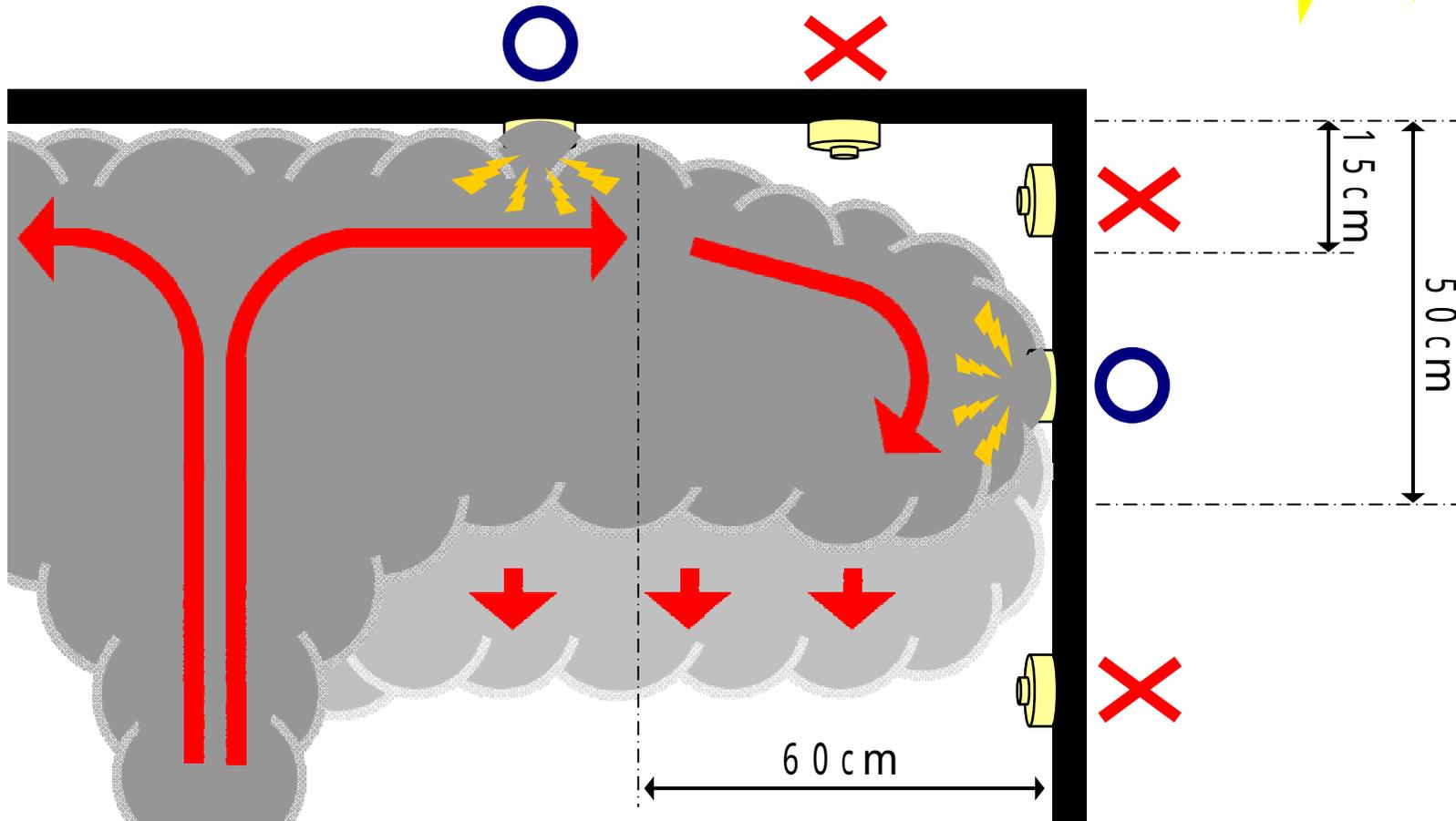
住宅用火災警報器の中心が天井から15~50cm以内になるように取付けます。



- 火災の煙は上に昇って天井に広がる
- 壁際には空気が溜まって煙が届かない
- 下に降りてくるまでには時間がかかる



正しく設置しないと  
警報されません！



# 音以外の警報について

- 就寝中の逃げ遅れ防止を目的とした住警器の警報としては、音と同等の信頼性が証明されたとは言えない状況



- 音による警報と併用して適宜活用

# 婦人防火クラブへの期待

共同購入の促進

まとめて買えば安くなる

悪徳販売の被害を防止

地域で協力して適切な維持管理を実現

早く、確実に警報する場所に設置

燻煙殺虫剤等で電池を消耗しないように

適切な機器選択

高齢者には大音量タイプ推奨等の工夫

各社異なる火災保険割引

## 住宅防火対策推進シンポジウム開催状況

・H18年度：東京、大阪吹田、札幌、山口、大阪堺、仙台、広島

・H19年度

7月まで：千葉、津、さいたま、金沢

9月5日：熊本(熊本市産業文化会館)

10月5日：姫路(姫路キャスパホール)

10月15日：甲府(山梨県民文化ホール)

11月14日：新潟(朱鷺メッセ・マリソホール)

11月22日：豊橋(豊橋市公会堂)

11月27日：郡山(ビックパレットふくしまコンベンションホール)

12月18日：水戸(茨城県総合福祉会館コミュニティホール)

20年度以降も継続することを目指しているところ